

意見1 愛甲公民館駐車場の増設について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
公共施設整備	<p>(1) 坊中自治会</p> <p>■愛甲公民館の駐車場は、障害者用駐車場1台分を含めて11台分の駐車スペースがある。</p> <p>しかし、公民館活動に伴う会合や施設利用者等で駐車場の空きがなく、やむを得ず公民館北側に路上駐車しているのが現状である。</p> <p>愛甲公民館は愛甲小学校と併設されており、周囲の道路は安全確保のため駐車禁止の看板が設置されているが、公民館利用者の路上駐車が一因としてあるのか、この道路上に一般の商用車が時間を問わず休憩場所として利用し、稀に自動車が放置されることもある。</p> <p>数年前に駐車場増設についての提案がされたが、土地利用に関する法令の規定による制限があり、実現しなかった。</p> <p>近年、建設された公民館では、十分な駐車スペースが確保された理想的な施設ができているとのことで、愛甲公民館も何とか駐車可能台数を増やすことで、公民館利用者の利便性の向上や周辺道路の路上駐車の問題も解消されるのではないかと。</p>	<p>■駐車場利用台数の抑制対策としましては、通常の貸館業務では、利用者に対して館内掲示やチラシの配布等によって、自家用車の相乗りやバスなどの公共交通機関での来館の御協力を呼び掛けるなどの対応を図っています。</p> <p>また、公民館まつりなど多くの方の来館が見込まれる催しを開催する場合は、あらかじめ、近隣の土地をお借りして臨時駐車場を確保していますので、御理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■中間報告以降においても変更点はありません。</p>	【社会教育部】 社会教育課

意見2 片平地区避難所について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
防災関連	<p>(1) 片平自治会</p> <p>■現在、片平地区を含む南毛利南地区の大雨、台風等による指定緊急避難場所は、愛甲原児童館と船子老人憩の家となっている。</p> <p>しかし、どちらも当地区から2キロメートル以上離れており、避難所のスペースとしてはとても小さく、駐車場も狭いため、避難所としては不十分ではないか。</p> <p>また、東名中学校体育館は、ハザードマップによれば0.5m～3mの浸水想定地域に立地している。片平地区は、0.5m未満の地域であり、水害が発生した場合は、わざわざ危険度の高い東名中学校体育館に行くよりも、自宅2階にいた方が良くはないか。</p> <p>ただ、昨今の温暖化による異常気象を考えると、いざという時の避難所は確保してほしい。例えば、東名中学校の2階以上の教室の活用、また、地区内に高い建物を持つ民間の施設や神社仏閣等と協定を結ぶなどして、片平地区の身近な避難所について検討し拡充してもらいたい。</p>	<p>■浸水想定区域内の避難所であることやコロナ禍ということもあり、東名中学校については、教育委員会、学校とも調整を図り、2階と3階の教室を避難所として使用することとしました。</p> <p>また、避難所においては、密閉・密集・密接（3つの密）の状況が発生する可能性が高くなることから、事前にハザードマップ等で自宅付近の浸水リスクを確認していただき、自宅が安全な場合の在宅避難や親戚・知人宅への分散避難等について、検討していただくよう周知を図っているところであります。</p> <p>更に、地域における避難場所として、地元の企業等の民間施設を活用させていただくことは、大変有効であると考えます。</p> <p>今後も引き続き、他の事例も参考に協定等を活用するなど、避難所の拡充について検討していきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■中間報告以降においても変更等はありません。</p>	【市長室】 危機管理課

意見3 愛甲宮前公民館の建て替えと避難所指定について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
防災関連	<p>(1) 坊中第二自治会、愛甲宮前自治会</p> <p>■愛甲宮前公民館は1980年(昭和55年)3月に旧耐震基準で建築され、既に40年が経過しているため、建て替えが必要な時期になっている。多くの住民が利用する施設、災害時には防災拠点となるような安心、安全な施設として、市による建て替えと管理を提案したい。</p> <p>南毛利南地区の災害時の指定避難所は愛甲小学校と東名中学校が指定されているが、令和元年の台風19号の際には浸水の恐れがあるため、愛甲小学校は避難所として開設されず、愛甲原児童館、船子老人憩の家、東名中学校に避難所が開設された。</p> <p>ハザードマップでは両校とも田の中に建設されており、地震の時には液状化が起こり、水害、地震共に避難所としては不十分な場所ではないか。</p> <p>愛甲宮前公民館は、立地上利便性がよく、高台のため水害時にも安全な避難場所として活用が可能である。東日本大震災の際には、帰宅困難者の避難所としても利用された。</p> <p>愛甲宮前公民館は市有財産ではなく、現在は自治会管理となっているが、防災拠点となるような、安心して利用できる施設として厚木市において建て替えを行い、市の財産として管理してもらいたい。</p>	<p>■南毛利南地区における指定避難所である愛甲小学校と東名中学校については、平成30年度に実施した地震被害想定調査において、浸水想定区域に立地するなど、避難にはリスクを伴うものの、2階以上の施設を使用するなど、災害種別や規模に応じた使い分けをすることで、使用が可能であると認識しています。</p> <p>なお、御要望のありました愛甲宮前公民館の建て替えについては、災害時の活用のみならず、地域の皆様にとって施設の在り方や利用方法など、全体的な視点で検討する必要があります。</p> <p>また、自治会館を市有財産として管理することはできませんが、地域集会施設を建て替える場合は、地域集会施設建設費等補助金を御活用いただきますようお願いいたします。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■中間報告以降においても変更等はありません。</p>	【市長室】 危機管理課 【協働安全部】 市民協働推進課

意見4 宮前公園への公衆便所設置について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
公園整備関連	<p>(1) 坊中第二自治会</p> <p>■宮前公園は利便性が良いため、近隣の子ども達はもちろん、かなり遠くの子ども達も利用している。また地域の文化活動や交流の場所としても多くの方に利用されている。</p> <p>現在、公園内には便所がないため、子ども達は家に戻って用を足している。</p> <p>公園内には、既に、災害時に簡易トイレとして利用できるベンチが設置されているため、設備工事も容易ではないかと推察される。</p> <p>宮前公園利用者の利便性向上のため、公衆便所を設置してもらいたい。</p>	<p>■公園へのトイレ設置については、地域住民の皆様の御理解と御協力が必要となります。そのため、近隣住民の同意が必要になることから、該当箇所の自治会を通じて御要望をいただき、設置について調整をしていきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■コープ野村自治会長と要望書の内容（設置位置等）について協議をし、後日要望書が市に提出される予定です。</p>	【都市整備部】 公園緑地課

意見5 保育園入園基準の見直しについて			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
子育て	<p>(1) パークハイツ本厚木自治会</p> <p>■一家庭から、二児を別々の保育園へ送迎することは、保護者にとって大きな負担となっている。 一家庭から二児を入園させる際、優先的に同一保育園へ入園ができるよう、入園基準や手続等について見直しをしてほしい。</p>	<p>■お子様が異なる保育所等に通わせる保護者様の負担が大きいことは認識しています。 保育所等の入所選考では、「厚木市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用調整に関する基準」に基づき選考指数を定め、高位者順に入所者を決定していますが、兄弟姉妹と同じ園への入所を希望した場合は指数の加算を行い、兄弟姉妹が同一園へ入所しやすい選考になるよう配慮しています。 また、手続については、入所申請に際して、兄弟姉妹が異なる園であっても入所を希望するかを確認する欄を入所申請書に設けており、入所内定前には保護者様に連絡を取り、意向の再確認を行っています。 兄弟姉妹を異なる保育所等に通わせることは負担が大きいことから、複数の園を希望する兄弟姉妹の入所申請に際しては、引き続き、十分な説明を行ってまいります。 《中間報告以降の状況等》 ■中間報告時点で対応済みです。</p>	【こども未来部】 保育課

意見6 防犯カメラの設置等について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
防犯関連	<p>(1) パークハイツ本厚木自治会</p> <p>■当マンション進入路に隣接する船子宮の里公園と八幡公園は人通りが少なく死角が多い状況であり、特に船子宮の里公園の奥側は道路からは全く見えない。 昨年は不審者の目撃情報があり、マンション入口付近の駐輪場でバイクの盗難事件も発生した。 駐輪場での盗難事件はマンション敷地内に設置されている防犯カメラが捉えていたが、公園は撮影範囲に入っていなかった。 パトロールの強化や防犯カメラの設置などにより防犯対策の強化をしてもらいたい。 また、当マンション前の公道はマンション敷地内の街灯が防犯灯の役割を果たしている。また、公道に面するエントランスや駐輪場付近に設置している防犯カメラも地域の防犯対策に役立っているため、防犯カメラ等設備の運用資金(電気代、メンテナンス費用等)の行政支援をしてもらいたい。</p>	<p>■近年、公園では防犯や交通安全の観点から、繁茂した樹木により見通しが悪くなっている園路や出入口付近の剪定等の要望が多くなっているため、公園の防犯対策として、公園樹木の繁茂による見通しの悪さを解消し、死角を無くす取り組みを順次実施しています。 現在、公園等に防犯カメラを設置する計画はございませんが、自治会が通学路の見守りのため、公園内に防犯カメラを設置した事例もございます。 令和2年9月末現在で自治会が設置した防犯カメラは、18団体で計29台設置されています。自治会が防犯カメラを設置する際には、その設置費の一部を県と市で補助し、地域防犯力強化の支援を行っていますので、御活用いただきますようお願いいたします。 なお、防犯カメラ設置後の維持管理については、自治会にお願いしていますので、御理解いただきますようお願いいたします。 《中間報告以降の状況等》 ■船子宮の里公園と八幡公園の死角が多い状況については、樹木剪定実施済みです。防犯カメラ設置の補助等については、中間報告以降においても変更等はありません。</p>	【協働安全部】 セーフコミュニティくらし安全課 【都市整備部】 公園緑地課
	<p>(2) 愛甲宮前自治会</p> <p>■当自治会は駅に近いので、人や車の往来が多い地域である。消火器の安全ピンを抜かれたり収納箱を破損されたりするなどの悪質ないたずらや不審者目撃情報が散発している。 犯罪等の抑止効果を高めるため、スギ薬局の入り口道路脇の電柱に市において防犯カメラの設置をしてほしい。</p>	<p>■街頭消火器の設置については、修繕等も含め迅速な対応に努めているところですが、悪質ないたずら等による破損等については、設置場所等も含め、自治会とも調整を図りながら、連携して取り組んでいきます。 また、自治会が防犯カメラを設置する際には、その設置費の一部を県と市で補助し、地域防犯力強化の支援を行っていますので、御活用いただきますようお願いいたします。 《中間報告以降の状況等》 ■中間報告以降においても変更等はありません。</p>	【市長室】 危機管理課 【協働安全部】 セーフコミュニティくらし安全課

意見7 空き家対策について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
まちづくり関連	<p>(1) 愛甲原自治会</p> <p>■愛甲原住宅は、50年以上前に分譲された住宅地ということもあり、家主と連絡のつかない空き家の問題に直面している。 長い間、空き家が管理されず放置された結果、外壁が傾き倒れてしまった所もあり、また、塀が倒れて通行人がいた場合には大きな事故になる可能性がある。その他にも、空き家の庭木が伸びて隣家にまで及ぶなど周辺的生活環境に悪影響がある。 これらの状況の改善が実感できるよう、引き続き取組をしてもらいたい。</p>	<p>■近隣に影響を及ぼしている空き家については、関係各課と連携し、定期的なパトロールを実施するなど、状況の把握に努めています。 市では空き家情報について、庁内でデータベースを整備し、情報を共有していますので、近隣に悪影響を及ぼしている空き家については、所有者等を確認後、住宅課を含めた関係各課から助言・指導などを行っています。 近隣の皆様に御迷惑が掛かっている状況にありましたら、個別に対応しますので御相談ください。 《中間報告以降の状況等》 ■中間報告時点で対応済みです。</p>	【まちづくり計画部】 住宅課

意見8 愛甲原児童館の建て替えについて			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
公共施設整備	<p>(1) 愛甲原自治会</p> <p>■愛甲原児童館は、地理的に高台に位置し、南毛利南地区の指定緊急避難場所として指定されている。風水害が発生した際の避難所として最適な場所にあるが、建築後40年以上が経過し、老朽化が進んでいる。</p> <p>令和2年度はシロアリが大量発生し駆除はしたものの傷みが激しい状況で、避難所としての安全性が問われる。</p> <p>日頃の子どもたちの交流の場としてだけでなく、非常時には避難所となるような機能を持たせ、安心・安全な施設として、愛甲原児童館を建て替えてほしい。</p>	<p>■愛甲原児童館の施設の老朽化等の現状については、十分認識しており、修繕等が必要な箇所については、優先的に対応しています。</p> <p>建て替え等再整備の方向性については、厚木市公共施設最適化基本計画等に基づき、昨年度実施した公共施設の劣化度調査の結果や各施設の立地環境、機能面での課題点など現状を整理しているところです。</p> <p>特に、老人憩の家（42施設）、児童館（38施設）、公民館（16施設）、小・中学校（36施設）については、地域コミュニティの拠点であり、公共施設の施設類型ごとの方向性に基づいた具体的な取組を推進するため、今後の適正配置に向けた判断基準や優先順位、実施時期等を定める個別施設計画を定めていきます。</p> <p>今後については、市民の皆様様の御意見を伺う市民参加手続を経て、令和2年度中に計画を策定していきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■公共施設の今後の方向性を定める計画については、令和2年度中の策定を予定していましたが、市民の皆様様に御理解をいただきながら、より丁寧に進めるため、策定スケジュールを見直し、令和3年中に策定することとしました。</p>	<p>【政策部】 行政経営課</p> <p>【こども未来部】 青少年課</p>

意見9 愛甲石田駅前自転車駐輪場の整備について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
道路・交通関連	<p>(1) 愛甲原自治会</p> <p>■愛甲石田駅前の自転車駐輪場を契約し利用するには、3～4か月ほどの待ちがあるほど空きがない状況である。</p> <p>契約まで待たず、周辺への迷惑駐輪につながることも考えられるため、この状況を改善し快適に利用できるように、2階建ての屋根付き駐輪場として整備してほしい。</p>	<p>■愛甲石田駅付近の市営駐輪場は3か所あり、以前は、契約し定期利用に至るまでお待ちいただく状況でしたが、現在では改善され、9月末現在では、自転車79台、バイク17台空きがある状況でした。</p> <p>民営にも空きがあることから、供給量は足りていると認識しており、現段階において市営駐輪場を2階建て等へ整備する予定はありません。</p> <p>今後についても、駐輪場の需要について状況把握に努めていきます。</p> <p>また、迷惑駐輪の防止については、引き続き、放置自転車整理員による警告札の取り付け等により防止を図っていきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■中間報告以降においても変更等はありません。</p>	<p>【協働安全部】 交通安全課</p>

意見10 バス路線の運行について			
分野	自治会長からの意見	回答	担当部課
道路・交通関連	<p>(1) 愛甲原自治会</p> <p>■車を持たない高齢者などが愛甲原住宅から本厚木駅まで移動する場合は、愛甲石田駅までバスに乗り、電車で乗り継いで移動することになる。</p> <p>以前は、愛甲原住宅からぐみだ経由の本厚木駅行きのバスがあったが、現在は廃止されている。</p> <p>地域住民の利便性向上のため、この路線に再び路線バスの運行をしてもらえよう要望してほしい。</p>	<p>■ぐみだ経由の本厚木駅行きの路線バスについては、需要の減少などの理由により廃止された経緯があることから、バス事業者による運行の再開は難しいものと考えられますが、地域から要望があることを事業者伝えていきます。</p> <p>愛甲原住宅については、愛甲石田駅行きのバス路線が主要な公共交通機関となっていることから、その定時性、速達性の向上を図ることにより、移動しやすい交通環境づくりを進めていきます。</p> <p>《中間報告以降の状況等》</p> <p>■御要望をバス事業者に伝えましたが、需要が見込めないと運行再開は難しいとの回答でした。</p>	<p>【まちづくり計画部】 都市計画課</p>